



# 茜雲

大宮高校だより



鹿児島県立  
大宮高等学校

〒895-2511 伊佐市大宮里2670

TEL 0995-22-1441 FAX 0995-22-9227

## 卒業式～旅立ちの瞬間～

3月3日、春の暖かなそよ風に包まれる中、大宮高校第77回卒業式が挙行されました。式典では、一人一人登壇し、吉満校長先生から直接卒業証書が授与されました。

校長式辞では、「雲外蒼天」という言葉をキーワードに、どんなに困難でくじけそうなき時も常にポジティブ思考で乗り切るよう激励の言葉がありました。卒業生を代表して、3年1組の中渡旭望君が「コロナ禍にあっても皆で一致団結して体育祭を成し遂げたことは、これからの人生の糧となるような気がします。」と答辞を述べました。

式典の後は、クラスに帰って最後のLHR。一人一人教壇に出てきて、3年間の思い出や将来の夢などを述べましたが、担任の山崎先生や両親への感謝の思いを涙ながらに語る姿に、大きな成長を感じました。4月からそれぞれの道を歩き始める皆さんの前途に幸多からんことをお祈りいたします。



## サクラサク

3月13日、高校入試の合格発表がありました。11時に一覧表が張り出されると、掲示板の前で自分の番号を指さして確認したり、記念写真を撮ったりなど喜びをかみしめていました。

高校生活は人生でたった一度きりです。かけがえのない3年間を大宮高校で有意義に送ってください。入学式で待っています。



## 進路体験発表会

3月14日、7人の卒業生が、自分の体験を基に、進路の決め方や受験勉強のコツなどを後輩たちに伝える「進路体験発表会」が開催されました。

「オープンキャンパスに参加することで進路目標が固まった」、「進研模試などで、全国の受験生の中での自分の学力を把握することが大切」、「3年の夏休みまでが勝負。その後はなかなか差は埋まらない」といったアドバイスを、真剣に聞いていました。



## ハッピースマイル

2月22日、2年生の女子生徒が中心となり、本校体育館を会場にして、小学生を対象とした「ハッピースマイル～みんなで楽しく体を動かそう～」という総探イベントを開催しました。

転がしドッジボール、風船バレー、鬼ごっこなどみんなで楽しめる競技を行いました。当日は40人の小学生が参加し、学校の枠を越えてみんなで仲良く楽しみました。



## 元町通り「屋台村」

3月2日、伊佐市商工会前の駐車場で開催された元町通り「屋台村」に、昨年に引き続き大宮高校も出店しました。

定番の大宮高校米クッキー、金山ネギに加え、2年生の池ノ上奈槻さんがパッケージのデザインを手がけたドリップコーヒーなども販売しました。

「チームちむどん」のステージでは、2年生の吉永実央さんや卒業生の三重優仁君たちが、ダイナミックな演舞を披露してくれました。



## ニュースポーツ体験

3月20日、2年生の男子生徒が中心となり、本校体育館を会場にして、小学生対象にニュースポーツ体験を実施しました。班ごとにポッチャ、ラダーゲッター、スコットボールなどで点数を競い、最後は全員が参加してドッジビーを楽しみました。

大宮小学校5年生の冷水隆太君は「参加していなければ家でテレビや動画を見ていた。高校生たちと体を動かすことができ楽しかった。」と喜んでいました。



## 本城「おきな草春まつり」

3月9日、菱刈本城で開催された「おきな草春まつり」には、2年生の比江島百花さんが実行委員として準備段階から関わっており、当日は司会という大役を務めました。大宮高校米クッキーや金山ネギの販売も好評で準備した商品は完売でした。

大宮高校は進学校です。しかし、生徒たちは自分のことばかりでなく、自分の生まれ育った故郷や地域の方々のために何ができるかを考えて行動しています。



## 離任式～お世話になりました～

令和7年度定期人事異動で、8人の先生方が転退職されることになりました。これまで大口高校の生徒たちのために尽力されてこられた先生方に、改めてお礼申し上げます。

3月25日に実施した離任式には、卒業生もたくさん駆けつけてくれました。



転退職者（教科等） 転出先】※敬称略

岩田裕児	（教頭）	加治木高校
黒岩由記子	（事務長）	吹上高校
本田奈津美	（国語）	奄美高校
橋口 等	（国語）	出水高校
肥後貴志	（数学）	錦江湾高校
山崎修平	（体育）	開陽高校定時制
辻原ひなた	（音楽）	志布志高校
米永百恵	（英語）	明桜館高校

## 日本経済大学との高大連携協定

このたび、大口高校は福岡県太宰府市にある日本経済大学と「高大連携協定」を結びました。3月19日に同大学で行われた締結式では、都築明寿香学長と吉満庄司校長が協定書にサインをし、記念品の交換を行いました。



今後、出前講義や「総合的な探究の時間」などでも専門の先生を派遣していただくことが可能になります。

## もしもの時、無事に脱出できるか？

1年生の男子生徒が、防災を楽しく学べる“脱出ゲーム”の開発に取り組んでいます。地震などの有事を想定して学べる新感覚の体験型ゲームです。伊佐市で活動している地域課題解決型プロジェクト「13 verse（イサバーズ）」と連携し、大阪・関西万博への出展を目指しています。楽しみながら命を守る力を育てる新しい防災体験に挑戦してみませんか。



## U-14大口高校旗争奪サッカー大会

3月22日と23日の両日にわたってU-14大口高校旗争奪サッカー大会を開催しました。今年では10回目となる記念の大会でもあり、伊佐市とその周辺の中学校やクラブチームが8チーム参加していただき、白熱したゲームを展開しました。



参加した中学校の生徒は「大口高校はサッカーグラウンドが2面もとれてすごい。高校ではこんな恵まれた環境の中でサッカーをしたいです。」と感想を述べていました。

## 春の高校野球鹿児島県大会

第156回九州地区高等学校野球大会鹿児島県予選大会に、大口高校野球部は霧島高校、蒲生高校、串良商業高校と連合チームで臨みました。

3月22日に鴨池市民球場で行われた枕崎高校戦では、5番ファースト福元琉之介君、6番サード佐土原大稀君が先発で出場。2人とも気迫のこもるプレーでチームを盛り上げ、佐土原君は途中マウンドに立つなど大きな収穫を得た大会となりました。



## 大口高校バドミントン教室

3月27日、大口高校バドミントン部が、中学生を対象に「バドミントン教室」を開催しました。今回は大口中央中学校と菱刈中学校の1・2年生の男子生徒が参加してくれました。全くの初心者にはラケットの持ち方から教え、経験者はゲーム形式でバドミントンを楽しみました。参加者からは大変好評でしたので、第2弾の開催を検討中です。



## 高校入試 受験対策説明会

3月27日、新中学3年生を対象とした高校入試の受験対策説明会を開催しました。悪天候にもかかわらず、伊佐市内だけでなく近隣の中学校からも参加があり、親子で熱心に高校入試問題の特徴や対策（勉強法）を学びました。

第2部は、大口高校1年生の中渡南翔君と林優希君が、自分の体験をもとに受験勉強のコツなどを伝授しました。



## 緊急予告!

令和7年度大口高校ふるさと歴史講座は、「伊佐で語る西郷隆盛と西南戦争」を計画しています。

日程や講師、演題等が決まり次第、大口高校のHPで案内いたします。どうぞご期待ください。



## 地域に愛される大口高校生

大口高校では、「総合的な探究の時間」で地域の活性化に向けて、自分の得意な分野を生かした活動をしています。

地域のイベントに参加するだけでなく運営そのものに携わったり、伊佐市内だけでなく鹿児島市で開催のイベントに出展して地域の特産品をPRしたり、最近では地元の小中学生を対象としたスポーツイベントを行ったりしています。

前例がない活動なので、高校生なりにいろいろ考えて試行錯誤しながら取り組んでいます。様々な場面で大口高校生が頑張っている姿を見かけたら、ぜひ温かい声をかけてあげてください。大口高校は、これからも地域の方々に愛される学校でありたいと思います。



校長 吉満庄司